

**新型コロナウイルス感染症についてのアンケート結果 <速報>****新型コロナの影響で「人の多い場所へ出かけるのを避けた」が8割、  
「自宅で過ごす時間が増えた」も6割との結果に**

～休園・休校期間中、子どもの昼食の準備は「食事の時間に大人が準備」が最多で68.2%。  
新型コロナに関する情報源は「テレビ」が最多の90.2%～

**日本生活協同組合連合会**

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：本田英一）は、このたび「新型コロナウイルス感染症についてのアンケート」の結果概要を取りまとめましたので、ご報告いたします。

本アンケートは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行による暮らしや購買に関する影響について明らかにすることを目的に、日本生協連に加盟する全国10の生協・生協事業連合を対象に、生協組合員からの回答を集約しています。（有効回答数：組合員 N=6,349）

なお、本調査結果の詳細版は2020年4月末頃に取りまとめる予定です。

**～調査結果の主なトピック～****■ 新型コロナウイルス感染症の流行の影響で「人の多い場所へ出かけるのを避けた」が8割。  
「自宅で過ごす時間が増えた」が6割**

組合員に対し、新型コロナウイルス感染症の流行の影響で、自身や同居家族の生活に影響があったことを聞いたところ、上位3位は「人の多い場所へ出かけるのを避けた」（80.8%）、「自宅で過ごす時間が増えた」（64.1%）、「旅行や外出の予定を取りやめた・控えた」（53.6%）という結果になりました。

また、新型コロナウイルス感染症の流行により、自身や同居家族が自宅であることが増えたことを自由回答で挙げてもらったところ、「テレビ」や「ゲーム」といったワードが多く確認できました。

**■ 休園・休校中の子ども・孫の平日の昼食は家での準備の負担が。  
「食事の時間に大人が準備」が最も多く、「大人が作り置き」「子ども・孫が準備」が上位ランクイン**

休園・休校期間中の子ども・孫の平日の昼食をどのように準備したかを質問したところ、「食事の時間に大人が準備」と回答した方が68.2%と最も多く、次いで「大人が作り置き（弁当以外）」が27.4%、「子ども・孫が準備（冷凍食品・即席食品などの利用を含む）」が26.8%となりました。

さらに、自由回答では、子ども・孫が休園・休校（自主休園・休校含む）期間中に組合員自身が困ったこと・大変だったことを聞いたところ、「ご飯の準備」を挙げた方が多く見られたほか、子ども・孫が休園・休校期間中に組合員自身があって助かったものなどについては、「冷凍食品」「レトルト食品」を挙げる方がいました。

**■ 情報取得手段として利用することが多いのは、第1位「テレビ」（90.2%）、  
第2位「インターネット（SNS以外）」（66.0%）、第3位「新聞」（47.1%）**

組合員に対し、新型コロナウイルス感染症の流行についての情報を得るために利用することが多かったものを質問したところ、「テレビ」が最も多い90.2%、続いて「インターネット（SNS以外）」が66.0%、「新聞」が47.1%となりました。「家族・知人からの情報」（19.7%）や「SNS」（17.2%）と回答する方も一定数いることがわかりました。

**■ 調査概要**

「新型コロナウイルス感染症についてのアンケート」

調査方法：インターネット

調査対象：日本生協連に加盟する全国10の生協・生協事業連合※に加入の組合員

※コープさっぽろ、コープ東北、コープデリ、ユーコープ、東海コープ、コープ北陸、コープきんき、  
コープこうべ、コープCSネット、コープ九州、

有効回答数：6,349サンプル

実施期間：2020年3月27日～4月1日

<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL：03-5778-8106